

<No21 : 地図編集>

次の a～e の文は、我が国で一般的に用いられている地図の投影法について述べたものである。正しいものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a 国土地理院発行の 1/25,000 地形図は、ユニバーサル横メルカトル図法 (UTM 図法) を採用している。
- b 平面直角座標系は、横円筒図法の一つであるガウス・クリューゲル図法を適用している。
- c 平面直角座標系は、日本全国を 19 の区域に分けて定義されており、各座標系の原点はすべて同じ緯度上にある。
- d 平面直角座標系における座標値は、X 座標では座標系原点から北側を「正 (+)」とし、Y 座標では座標系原点から東側を「正 (+)」としている。
- e メルカトル図法は、面積が正しく表現される正積円筒図法である。

- 1. a, c
- 2. b, e
- 3. a, b, d
- 4. a, c, d
- 5. b, d, e

<No22 : 地図編集>

次の文は、一般的な地図を編集するときの原則について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 山間部の細かい屈曲のある等高線は、地形の特徴を考慮して総描する。
2. 編集の基となる地図は、新たに作成する地図の縮尺より大きく、かつ、作成する地図の縮尺に近い縮尺の地図を採用する。
3. 水部と鉄道が近接する場合は、水部を優先して表示し、鉄道を転位する。
4. 描画は、三角点、水部、植生、建物、等高線の順で行う。
5. 道路と市町村界が近接する場合は、道路を優先して表示し、市町村界を転位する。

<No23 : 地図編集>

次の文は、地理情報システムで扱うラスタデータとベクタデータの特徴について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. ラスタデータを変換処理することにより、ベクタデータを作成することができる。
2. 閉じた図形を表すベクタデータを用いて、図形の面積を算出することができる。
3. ラスタデータは、一定の大きさの画素を配列して、地物などの位置や形状を表すデータ形式である。
4. ネットワーク解析による最短経路検索には、一般にラスタデータよりベクタデータの方が適している。
5. ラスタデータは、拡大表示するほど、地物などの詳細な形状を見ることができる。

<No24 : 地図編集>

次の文は、地理空間情報の利用について述べたものである。 [ア] ~ [エ] に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

地理空間情報のある目的で利用するためには、目的に合った地理空間情報の所在を検索し、入手する必要がある。 [ア] は、地理空間情報の [イ] が [ウ] を登録し、 [エ] がその [ウ] をインターネット上で検索するための仕組みである。

[ウ] には、地理空間情報の [イ] ・管理者などの情報や、品質に関する情報などを説明するための様々な情報が記述されている。

	ア	イ	ウ	エ
1.	地理情報標準	作成者	メタデータ	利用者
2.	クリアリングハウス	利用者	地理情報標準	作成者
3.	クリアリングハウス	作成者	メタデータ	利用者
4.	地理情報標準	作成者	クリアリングハウス	利用者
5.	メタデータ	利用者	クリアリングハウス	作成者